

婦人関係資料シリーズ NO.3

婦人の地位についての調査

1949年婦人週間調査

労働省婦人少年局

は し が き

日本で始めて婦人が参政权を行使してから満四年の記念日を迎えるにあたり、婦人の地位についての新しい調査資料をおめにかけるのを嬉しく存じます。婦人少年局の仕事は一般婦人、女子及び年少労働者の実態調査、政策の確立、啓蒙宣傳でありますが、今まで殆んど手のつけられていなかった婦人の地位についての参考資料がおいおいにままと共に、それらが婦人の実質的な解放を刺激する上に役立つことを切に願っております。

1950年3月

婦人少年局長 山 川 菊 榮

内 容 目 次

	頁
1. 調査の目的	1
2. 調査期日	1
3. 調査地域及び調査対象	1
4. 調査方法	1
5. 調査票回収状況	2
6. どんな人達が調査されたか	3
(1) 年 令	3
(2) 学 歴	3
(3) 配偶者の有無	3
(4) 本人の職業	4
(5) 夫又は家の職業	4
7. 集計の結果	4
(1) あなたは終戦前と今日とくらべて毎日の生活において婦人の地位が向上したと思 いますか	4
(2) あなたは婦人の地位の向上を妨げているものは何だと思ひますか	5
(3) あなたは婦人の地位をもつと高めるためにはどうしたらいいと思ひますか	7
(4) あなたは男の人もしよの会合で自由な気持ちでどんどん意見を發表することがで きますか	8
(5) あなたは女の人が男の人たちと議論をするのは良いことだと思ひますか	9
(6) あなたは内職をしたり、お店や夫の仕事を手伝ったり、あるいは外に出て働いた りしてどの位家計を助けていますか	9
(7) 日常の家計費は誰があずかっていますか	11
(8) あなたは家族の大事な問題（たとえば子供の學校の問題とか、結婚の問題など） の決定に自由に意見を述べますか	12
(9) あなたは婦人会、青年会、組合あるいは研究会、修養会のような会合に出席しま すか	13
(10) あなたは新聞をよみますか	14
(11) あなたが先月読んだ雑誌の名を全部書いて下さい	14
(12) あなたは1月23日の衆議院議員の選挙のとき投票しましたか	16
(13) 次の場合に新しい民法の條文ではどうなっていますか	17
(イ) 女の人が結婚したとき姓はどうなりますか	17

(ロ) 夫婦に男の子が2人、女の子が1人居る家庭で夫が亡くなつた時誰が財産
を相続しますか

(14) 婦人少年局では色々なパンフレットやリーフレットを出していますがみなさんは
どんな内容のものが欲しいですか

8. あとがき

統計表目次

第1表 府縣別調査票回収状況	2
第2表 どんな人達が調査されたか(年令別)	3
第3表 どんな人達が調査されたか(學歷別)	3
第4表 どんな人達が調査されたか(配偶者の有無別)	3
第5表 どんな人達が調査されたか(本人の職業別)	4
第6表 どんな人達が調査されたか(夫又は家の職業別)	4
第7表 家計費への寄與とその管理の割合(夫又は家の職業別)	12
第8表 家庭内における発言権(年令別)	18
第9表 雑誌の分類	15

統計図表目次

第1図 婦人の地位の向上を妨げているもの(學歷別)	6
第2図 婦人の地位の向上を妨げているもの(未婚婚別)	6
第3図 地位向上を妨げているもの及び促進するための要因	8
第4図 公けの席で自由な気持ちで発言できるか(學歷別)	8
第5図 発言に対する考え方(年令別)	9
第6図 どの位家計を助けているか(未婚婚別)	10
第7図 どの位家計を助けているか(本人の職業別)	10
第8図 どの位家計を助けているか(夫又は家の職業別)	10
第9図 家計費の管理(年令別)	11
第10図 家計費への寄與とその管理(夫又は家の職業別)	12
第11図 会合への出席率(年令別)	13
第12図 雑誌の購読	15
第13図 結婚後姓はどうなるか(未婚婚別)	17

第14図 相続の割合(学歴別)	18
-----------------------	----

× × × × ×

附 録 I 調 査 票	21
II 質問別統計表	23

婦人の地位についての調査

1. 調査の目的

この調査は第一回婦人週間中の行事の一つとして全国各都道府県で開催した講演会、討論会、座談会等に出席した婦人がどのような階層に属しているか、実生活面ではどういう状態にあるか、又婦人解放についてどのような考えを持っているか等を知り、今後の啓蒙教育の対策資料とするために行つたもので特に次の諸点について婦人参加者の意見をまとめたものである。

- (1) 昭和22年5月に新憲法が実施されて以来、我國の婦人がどの程度解放されたか、その地位は向上したか、更にこの問題に対する婦人自身の認識の程度を明らかにすること。
- (2) 婦人の発言に対する考え方及び現状を知ること。
- (3) 経済面からみた婦人の地位の現状を把握すること。
- (4) 多く読まれている雑誌を通じて教養の程度及び傾向を推察すること。
- (5) 政治や法律に対する関心と理解の程度を明確にすること。

2. 調査期日 昭和24年4月10日～16日(第1回婦人週間)

3. 調査地域及び調査対象

見本抽出としては対象が片寄るのであるが、婦人週間に各地で開催された講演会、討論会、座談会等に出席する婦人の階層をも併せて調査したい希望から各縣一ヶ所を選定し(但し大阪府及び長崎縣は現地の都合により調査を実施せず、山梨縣は事故のため回収不能)これらの会合に出席する婦人を対象にとることとした。

この結果として、このような会合に出席する比較的高い意識を持つと思われる婦人層が対象となつたために、この調査の結果として現われたものは、一般婦人大衆の現状よりはやく意識の高いものとなつたと推察されるのでこれを参考にされる方々はその点を考慮して御覧いただきたい。

4. 調査方法

前記会合の來会者のうち、婦人のみを対象として入口で調査票を渡し、会場に於て自記法をと

り、休憩又は散会の時にとりまとめて回収した。

5. 調査回収状況

回収された調査票の中から、7問以上答えたものを有効とし、それ以下のものは無効として整理した結果、11,178枚の配布票に対し（北海道は配付数未報告のため除く）約51%に当る5,711枚が有効票として集計された。

各都道府県別回収状況は第1表の通りである。

第1表 府県別調査票回収状況

府 県 別	配 布 数	有効回収票数	府 県 別	配 布 数	有効回収票数
北海道	-	79	滋賀	183	110
青森	127	47	京都	179	39
岩手	50	35	大阪	0	0
宮城	190	114	兵庫	800	423
秋田	250	66	奈良	226	68
山形	250	84	和歌山	100	67
福島	350	55	鳥取	240	92
茨城	250	96	島根	250	216
栃木	250	92	岡山	309	302
群馬	250	58	廣島	350	160
埼玉	250	86	山口	240	88
千葉	180	82	徳島	250	139
東京都	1,000	483	香川	60	60
神奈川	332	226	愛媛	210	100
新潟	350	133	高知	80	70
富山	215	147	福岡	535	144
石川	230	93	佐賀	205	198
福井	221	160	長崎	0	0
山梨	0	0	熊本	245	98
長野	290	183	大分	250	174
岐阜	244	204	宮崎	250	106
静岡	68	55	鹿児島	250	206
愛知	500	178			
三重	118	95	合 計	11,178	5,711

6. どんな人達が調査されたか。

全国各地で行われた婦人週間の会合のうち各府県別に1ヶ所をえらび、この調査を行ったのであるが、調査結果の分析に入る前に、5,711名の婦人の年齢、学歴、配偶者の有無、本人及び家庭の職業別を分類して各種意見の母体構造を明らかにしておきたい。

(1) 年 令

まず年齢であるが、第2表に示す如く20才代が32%で出席率が一番高く、次に40才代の24%、30才代の20%となり、その他は引きはなして出席率が下つていく。これを全国女子の年齢分布とくらべてみても20才代及び40才代の出席者が特に多かったことを示している。

第2表 年 令

年 令	5,711	100%	100%(イ)
15~19歳	273	5	16
20~29歳	1,800	32	27
30~39歳	1,154	20	21
40~49歳	1,405	24	16
50~59歳	492	9	12
60歳以上	77	1	8
記入なし	510	9	-

(イ) 昭和22年国勢調査による全国女子年齢分布
15才~69才=100

第3表 学 歴

学 歴	5,711	100%	100%(イ)
不 就 学	0	0	4
小 卒	445	8	30
高 小 卒	1,565	27	33
女 在 学	75	1	7
女 卒	2,375	42	23
専 在 学	92	2	2
専 卒	494	9	1
大 在 学	6	0*	0*
大 卒	12	0*	0*
記入なし	647	11	0*

(註) *印は1%未満

(イ) 昭和23年8月のよみかき能力調査の結果による
全国女子の学歴分布

第4表 配偶者の有無

配 偶 者 の 有 無	5,711	100%
未 婚	1,800	32
有 夫	2,693	47
死 別 離 別	628	11
記入なし	590	10

(2) 学 歴

昭和23年8月のよみかき能力調査の結果から全国女子の学歴を推計すると第3表に示すように小学校卒業程度の者が80%、高卒は88%で一般の婦人の学歴は小学校及び高等小学校卒業程度の者が過半数を占めているのであるが、この調査の結果においては女学校卒業者が最も多く総数の42%、2,375名になつていてこの種の会合には学歴のやゝ高い者の出席が多かったことを示している。

(3) 配偶者の有無

未婚者32%に対して既婚者は58%でそのうち47%が有夫の婦人であつたが、忙しい家事を担当して家庭にしばられがちな有夫の婦人が半数近くを占めていたことは、これらの婦人たちが家事も大切であるが、自らを高めるためのこのような会合に出席することも大切であると考えたためであろう。

(4) 本人の職業

調査の対象となつた会衆者を職業別にみると第5表に示すように家庭婦人86%、俸給生活者83%となつてゐるが、前表において既婚者が58%あつた事を考え合せると現在の社会的、経済的條件の下で有夫の婦人或いは未亡人の職場進出が相当多くなつてゐる事を示しているといえよう。

第6表 夫又は家の職業

總 數	5,711	100%
俸 給 生 活 者	1,720	30
工 業 者	170	3
商 業 者	425	8
農 業 者	862	15
漁 業 者	17	0*
そ の 他	207	4
記 入 な し	2,310	40

(註) *印は1%未満

7. 集 計 の 結 果

(1) あなたは終戦前と今日とくらべて毎日の生活において婦人の地位が向上したと思いますか。

相当向上したと思う	14%
少しは向上したと思う	70
向上したと思わない	12
わからない	2
記入なし	2
	100%

終戦後新憲法の施行に伴つて民法をはじめ種々の法律が改正されて婦人の地位は法律的には男子と同じ程度まで引上げられたのであるが、この質問は日常生活において婦人自身がそれをどのように感じているかを知るために、まずはじめにかけられたが、この問題に対して「少しは向上したと思う」と答えた者が70%を占めていることは一應うなずけるであろう。これを未婚既婚別に

第5表 本人の職業

總 數	5,711	100%
家 庭 婦 人	2,060	36
俸 給 生 活 者	1,879	33
商 業 者	150	3
学 生	174	3
そ の 他	250	4
記 入 な し	1,197	21

(5) 夫又は家の職業

夫又は家の職業をみると俸給生活者が最も多く80%、次は農業の15%、他はずつと率が低くなつていて対象が片寄つてゐるが、この事はこの調査が大部分都道府県内の大都市で行われたためである。

みると「相当向上したと思う」者と「少しは向上したと思う」者の合計は未婚者では88%、死別離別の者は85%、有夫の者は83%となつていて未婚の者の率がやや高いが、「向上したと思わない」者の率は未婚者は他の者より低くなつてゐる。

第2問、8問は上の問題にひきつづいて婦人の地位の向上を妨げている原因及び向上を促進するための要因をさらに突込んで質問し自由な解答を求めたのであるが第1問においては無記入がわずかに2%であつたのにひきかえ、2問、8問とも答えなかつた者の率は25%にも上つていて、第1問では何れかの項目に答えていながら具体的に向上を妨げる原因やそれを向上させるための要因を把握していない婦人がこうした会合に出席してゐる婦人たちの中にさえ相当数あることを示している。答えた者についてその意見を分類すれば次の通りである。

(2) あなたは婦人の地位の向上を妨げているものは何だと思ひますか。

従來の封建性及び慣習の残存	42%
男性及び世人の無理解	35
家事の不合理	30
婦人自身の無自覺と消極性	27
經濟の不安定	14
教育程度の低かつたこと	9
政治及び社會機構の悪いこと	2
社會教育施設の不備	1
婦人の經濟的獨立の欠陥	0*
子供の多いこと	0*
そ の 他	0*

(註) *印は1%未満。数字は回答者を100とした割合。

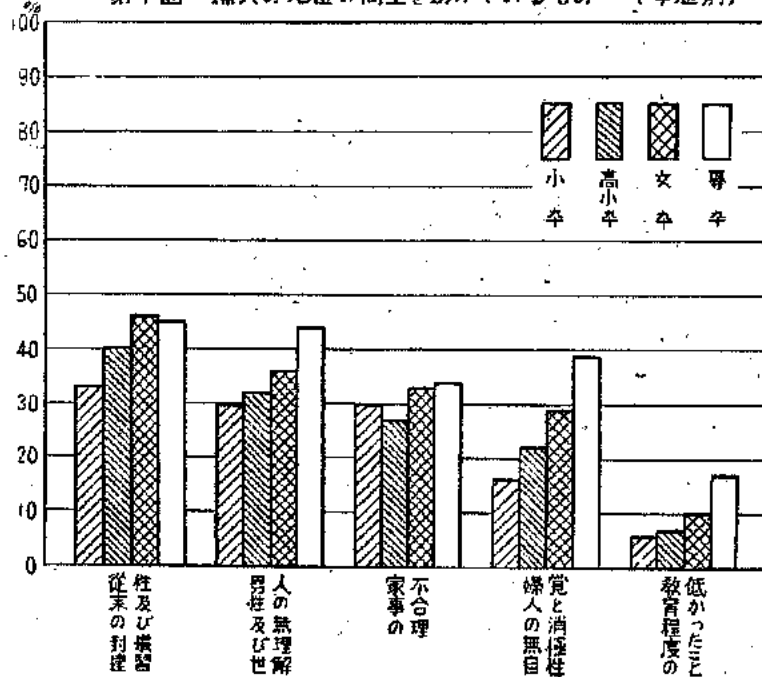
この質問については1人で数個の回答をした者があるので總計は100%を越す。

男女同權が認められて民法は家庭内における婦人の立場を保障し、婦人にも參政權が與えられ、教育上の機會均等も實現したが、婦人の地位はまだ實質的には低くその向上を妨げているものはたくさんある。

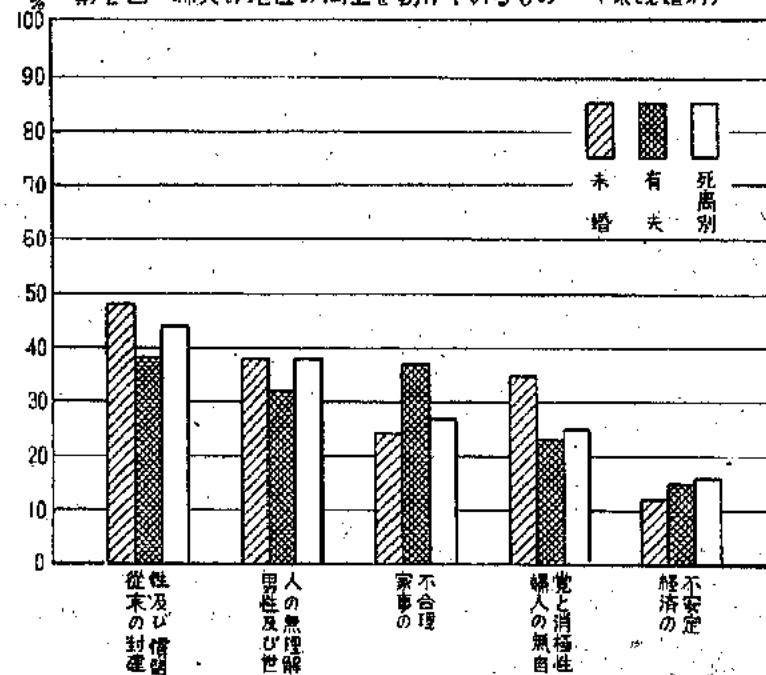
この調査に現れた婦人の聲では、従來の封建性や慣習が婦人の地位の向上をはばむ第1に位し(100人のうち42人の割合)その他でも男性や世人の無理解とか、家事の不合理の如き旧來の慣習や封建性を示すものが高率である。

これを学歴別にみると、殆んどどの項目においても学歴の高くなるにつれて回答率が高くなっているが、未婚既婚別では、「従来の封建性及び慣習の残存」と「婦人自身の無自覚と消極性」を指摘した者は未婚者に多かったが、「家事の不合理」をあげた者は殊に有夫の者に多かった。「経済的不安定」

第1図 婦人の地位の向上を妨げているもの (学歴別)



第2図 婦人の地位の向上を妨げているもの (未婚既婚別)



は生活の実感を反映してか、未婚、有夫、死別離別の者の順に高くなっている。

(3) あなたは婦人の地位をもつと高めるにはどうしたら良いと思いますか。

婦人が自覚し、積極性を持ち教養を高める	74%
家庭生活の合理化	27
男性及び世人の理解	19
教育の向上	10
社会教育施設の完備	4
婦人の経済的独立	3
婦人の組織	3
経済の安定	2
従来の封建性及び慣習の打破	2
政治及び社会機構の改革	1
産児制限	0*
その他	1

(註) *印は1%未満。数字は回答者を100とした場合。

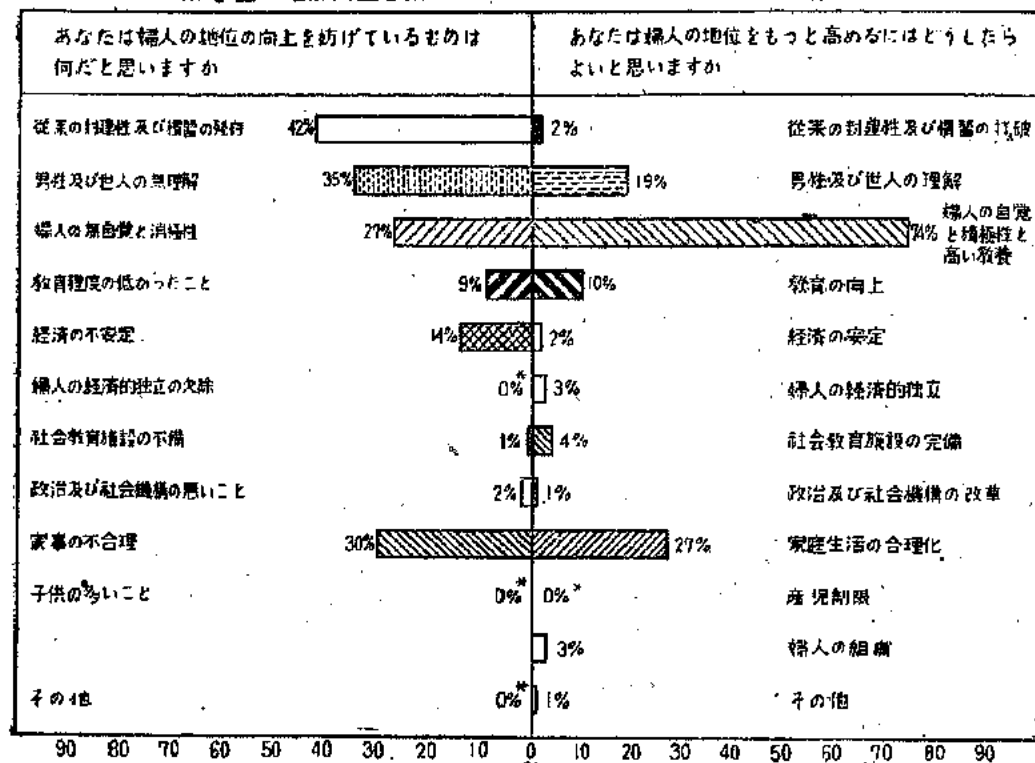
1人で数個の回答をした者があるので総計は100を越す。

次に婦人の地位をもつと高めるにはどうすればよいかを聞いてみると、第3図に示すように、妨げるものが社会の封建性及び慣習であつたのにひきかえ、婦人の自覚、積極性が他をひきはなした最高率で回答者100人のうち74人までがこのことを指摘している。これは封建性を打破するためにも婦人自らの努力が先決問題であり、このことを自覚していると見るべきであろう。

なお、率としては少いが、「教育の向上」、「社会教育施設の完備」、「婦人の経済的独立」、「婦人の組織」等のように具体的な形で地位を高める方法をあげていることは注目すべきである。しかし一般的には、2問、3問を通じて男女の平等或は婦人の地位の向上ということが漠然とした形でしか把握されていないといえるであろう。

未婚既婚別では、「婦人自身が自覚し、積極性を持ち、教養を高める」ことを婦人の地位向上の要因として強く主張した者は未婚者に最も多く未婚者100人につき80人の割合であるが、有夫の者は100人に対して70人の割合で最も低かつた。「家庭生活の合理化」は有夫の婦人からの声が一番高く有夫の者100人のうち82人までがこのことを指摘しており、次は死別離別の者、未婚者の順になつている。

第3図 地位向上を妨げているもの及び促進するための要因

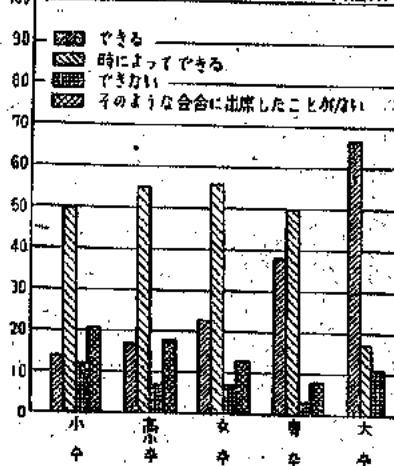


(4) あなたは男の人と一緒にの会合で自由な気持ちでどんどん意見を発表することができますか。

できる	22%
時によつてできる	54
できない	7
そのような会合に出たことがない	15
記入なし	2
	100%

この問に対する答には、はつきり「できる」といつている者が第2位の22%あつたことは婦人が相当積極的になつてゐることを示していると思われる。これを年齢別にみると「意見を発表できる」と答えた者は20才未満は17%、20才代18%、30才代20%、40才代24%、50才代35%、60才代38%と年を取るに従つて率が上昇している

第4図 公けの席や自由な気持ちで発言できるか (学歴別)



が、反対に「できない」と答えた者は60才以上の者を除き年齢の高くなるにつれてふえている。学歴別では第4図に示すように学歴の程度が高くなるにつれて「できる」と答えた者が多くなり、大学卒業者では67%が「できる」と答えている。「時によつてできる」者は女学校卒業の56%が最も高率であり、また「できない」と答えた者は学歴の低くなるほど多くなつてゐる。

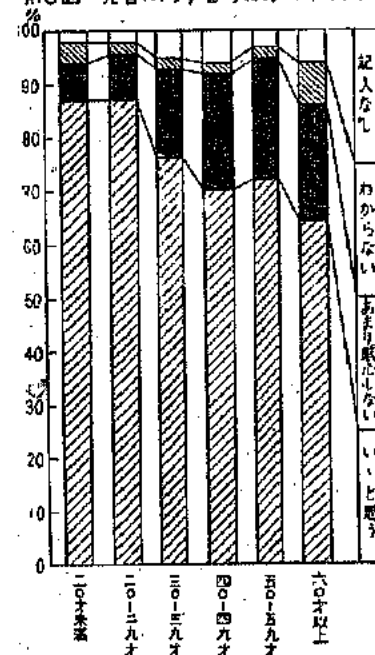
(5) あなたは女の人が男の人たちと議論をするのは良いことだと思いますか。

いいと思う	78%
あまり感心しない	10
わからない	2
記入なし	4
	100%

婦人が発言に対してどのような考えを持つてゐるかをこの質問によつてきいてみると、78%という率が示すように、大部分の者がいいと答へてゐるが「あまり感心しない」とする者が16%ある。

これを年齢別にみると、年齢が多くなるに従つて「いいと思う」者の率は下り「あまり感心しない」者が多くなつてゐる。若い人々の方が積極的であると言へよう。未婚既婚別では「いいと思う」者は未婚者が88%、死別離別の者80%であるが有夫の者は72%で最も低い。これにひきかえ「あまり感心しない」と答へた者の率は有夫の者が21%で最も高く、死別離別の者は14%、未婚者は8%となつてゐる。

第5図 発言に対する考え方 (年齢別)



(6) あなたは内職をしたり、お店や夫の仕事を手伝つたり、あるいは外に出て働いたりしてどの位家計を助けていますか。

半分以上	28%
半分くらい	20
半分以下	28

全然助けない

22

記入なし

10
100%

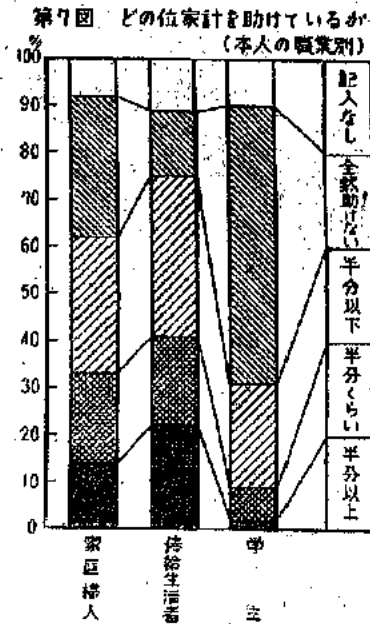
この問題は経済的に婦人がどれだけ家計に寄与しているかを知るためのものであるが、「全然助けない」者は22%にすぎず40%の者が「半分くらい」或は「半分以上」を助けている。未婚既婚別でみると未婚者では「半分くらい」又は「半分以上」助けている者の合計は81%であるが、死別又は離別の者は64%、有夫の者でも89%に達している。死別離別の者の中には家計全部を自分で負担している未亡人も当然含まれており、有夫の婦人の89%が「半分」或は「半分以上」家計を援助していることと相俟つて多くの婦人が経済的負担を負っている事を示していると言えよう。

第6図 どの位家計を助けているか (未婚既婚別)

	半分以上	半分くらい	半分以下	全然助けない	記入なし
未婚	15%	16%	36%	22%	11%
有夫	17%	22%	28%	26%	7%
死別別	48%	16%	15%	9%	12%

本人の職業別では俸給生活者の75%が或る程度（「半分以上」、「半分くらい」或は「半分以下」）家計を助けており、「全然助けない」者は僅か14%である。家庭婦人でも62%が何等かの形で家計を助けている。

夫又は家の職業のうち、農業、商業、俸給生活者の三つを選んで比較してみると、農業に従事する夫或は父を持つ農村婦人の66%が「半分以上」或は「半分くらい」家計を助けているが、商業や



俸給生活者の妻や娘は順に率が減つて、それぞれ48%及び27%となつている。これにひきかえ、「半分以下」或は「全然助けない」者の率は逆に農業、商業、俸給生活者の順に多くなつていて、家計寄与の程度を産業別にはつきりと現わしている。

第8図 どの位家計を助けているか (夫又は家の職業別)

	半分以上	半分くらい	半分以下	全然助けない	記入なし
農業	38%	28%	22%	6%	6%
商業	16%	27%	32%	19%	6%
俸給生活者	11%	16%	33%	33%	7%

なお、家計への寄与は巻末の調査票にも記してあるように、商業、農業についてはそのために費す時間で回答を求めたものである。

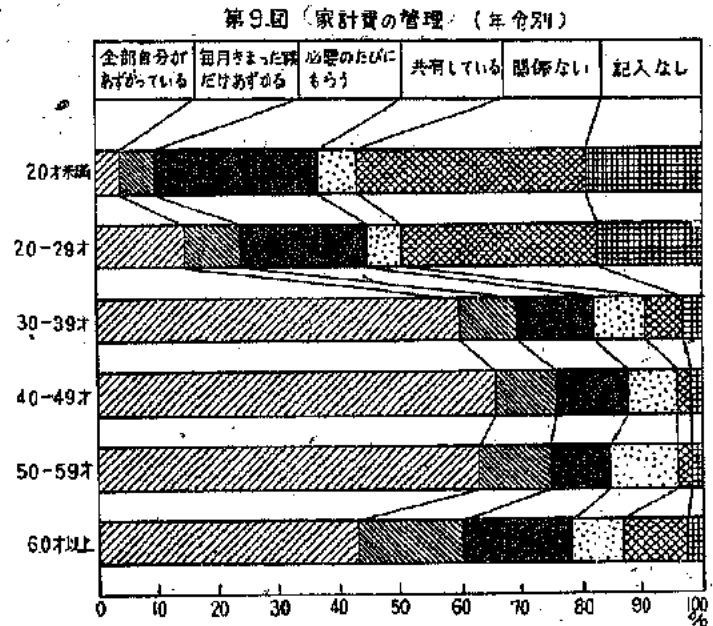
(7) 日常の家計費は誰があずかっていますか。

全部自分があずかっている	43%
毎月きまつた額だけあずかる	9
必要のたびにもらう	16
共有して誰ともきまつてあずかっている者がいない	8
他の人があずかっている関係がない	15
記入なし	0 100%

日常の家計費は誰があずかっているかをしらべてみると、43%の者が「全部自分であずかっている」と答えているが、「必要のたびにもらう」者が16%ある。これを年齢別にみると20才未満及び20才代では「全部自分であずかっている」者の率は低いのであるが、30才代、40才代、50才代になるとその率は急激に上昇し、40才代は最高の66%を占めている。これと反対に「必要のたびにもらう」者や「他の人があずかっている関係がない」者は20才未満20才代に多くなっている。

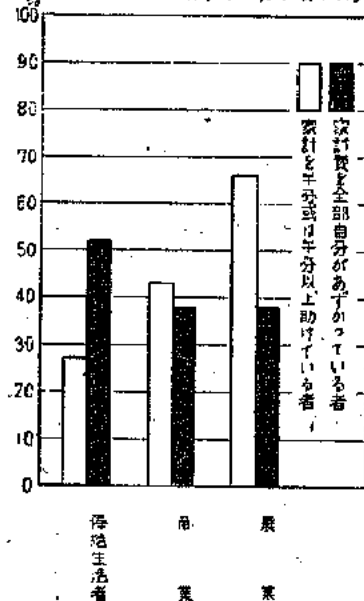
また夫又は家の職業別では、前の問題で明らかのように、農業に従事する夫又は父を持つ農村婦人の66%もが「半分」或は「半分以上」家計を助けていながら、「全部自分であずかっている」者は38%で他の職業の妻や娘よりは低く、「必要のたびにもらう」者の率が高くなっている。このことは、家計費と生産費を分離しにくいことにもよるのであろうが農村における婦人の地位がなお低いことを示しているのではあるまいか。

このことをさらに半分以上家計を助けている者、少くとも半分は助けている者（「半分以上」+「半



分くらい)、少くともいっくらは助けている者(「半分以上」+「半分くらい」+「半分以下」)のグループに分けて「全部家計をあずかっている」者を1としてそれぞれのグループにおける家計への寄与とその管理権との割合をみると、第7表のように「半分以上」助けているグループでは、農業に従事する夫又は父を持つ農村婦人は「全部家計をあずかっている」者1に対して「半分以上」家計を助けている者の割合は1.3なのであるが、俸給生活者の妻や娘は0.2ということになる。言いかえれば、農村婦人では「全部家計をあずかっている」者10人に対して「半分以上」家計を助ける者は13人いなければならないのに対して、俸給生活者の妻や娘は「全部家計をあずかっている」者が10人いてもそのうち「半分以上」家計を助けている者はたつた2人しかいないことになる。

第10図 家計費への寄与とその管理
(夫又は家の職業別)



第7表 家計費の寄与とその管理の割合
夫又は家の職業別

	半分以上家計を助けている者	少くとも半分は助けている者	少くともいっくらは助けている者
農業	1.3	1.8	2.4
商業	0.4	1.1	2.0
俸給生活者	0.2	0.5	1.2

(註) 数字は家計を「全部自分であずかっている」者を1とした割合

(8) あなたは家族の大事な問題(たとえば子供の学校の問題とか結婚の問題など)の決定に自由に意見を述べますか。

のべる	85%
えんりよする	7
できない	2
記入なし	8
	100%

「意見を述べる」者が85%という高率を占めてはいるが未だに「えんりよする」者が「できない」者が9%ある。

「えんりよする」者はどんな年齢層に多いか第8表によつてみれば、若い者からだんだんにその率が低くなり、60才以上の高齢になるとまた高くなっている。これは家庭内の権力を反映するものではあるまいか。

また夫又は家の職業別にみたところでは、農業、工業の順(漁業は数が少ないために除く)に高率を示している点から封建性はその方面により多く残つていともいえる。

第8表 家庭内における発言権(年齢別)

年 令 別	総 数	意見を述べる	意見を述べるのをえんりよする	意見を述べることができない	記入なし
20才未満	100%	66	12	8	14
20-29才	100%	79	10	3	8
30-39才	100%	88	7	1	4
40-49才	100%	92	4	1	3
50-59才	100%	95	2	1	2
60才以上	100%	92	7	0	1
不 明	100%	82	8	2	8

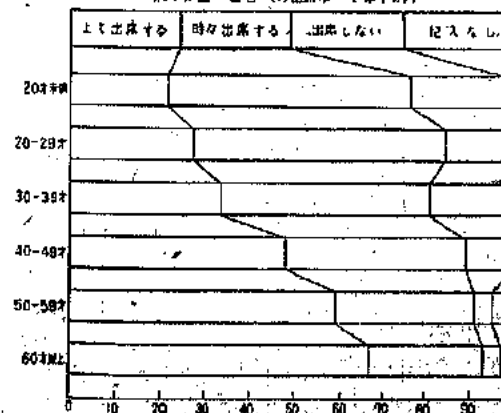
(9) あなたは婦人会、青年会、組合あるいは研究会、修養会のような会合に出席しますか。

よく出席する	38%
時々出席する	47
出席しない	18
記入なし	2
	100%

「時々出席する」者が47%で約半数に近く、次いで「よく出席する」に○をつけた者が多かった。注目すべきは、この調査を実施した会合に出席しながら「出席しない」と答えた者が13%あつたことで普段会合に出席しなかつた婦人にも婦人週間が何等かの影響をあたえたと推察される。

「よく出席する」者は第11図に示すように年齢順にだんだん率が上昇しているが、未婚既婚別でみると死別又は離別による独りの婦人

第11図 会合への出席率(年齢別)



が45%、有夫の者が43%未婚の者は29%で死別離別の者が最も高い。

(10) あなたは新聞を読みますか。

毎日読む	80%
時々読む	19
読まない	1
記入なし	0
	100%

新聞の読み方にもよるのであろうが、毎日、新聞を読む者は80%で、時々読む者の19%を合計すると99%になる。この調査の対象となつた会衆が学歴においても一般のレベルよりは高く、質問12の投票率においても94%で全国女子の投票率よりは26%も高いことを思い合せるならばこれらの婦人は社会的関心も深いものと思われる。

(11) あなたが先月読んだ雑誌の名前を全部書いて下さい。

まず雑誌を読んだ者、読まなかつた者をわけてみると、読んだ者は5,711名中4,215名で全体の74%、読まなかつた者は26%であつた。雑誌の種類は非常に多く、一應最も読む者の多い順に6種類取出して調査人員に対する率をとつてみると

主婦の友	16%
主婦と生活	14
リーダーズダイジェスト	13
婦人生活	13
婦人倶楽部	12
婦人世界	11
その他	95
記入なし	23

となつている。以上により未だに婦人の読書レベルは婦人雑誌の程度であることを示しているが、ただリーダーズダイジェストが8位に進出しているのは注目すべきである。

雑誌を読まなかつた者の中には近頃の婦人雑誌はつまらないからと答えている者もあり、第8問の「婦人の地位はどうしたら向上できるか」に対しても少数ではあるが婦人雑誌の質をよくすると答えた者がある。

さらに、この間に関する解答の雑誌約150種、9,953冊を次の表のように用紙割当欄の分類を参考として10部門に分けて集計したが、最も多く読まれていたのは一般向婦人雑誌、次いで総合雑誌、第3位はやや知識的婦人雑誌の順であつた。それ以下はぐつと下つて大衆雑誌、文藝、専門、厚生、芸能など低い比率であつた。なお、総合時局雑誌のうち53%はリーダーズダイジェストによつて占められている。

総合雑誌の読者層を学歴別にみると、1人当りの平均冊数は学歴の高くなるに従い、小卒0.1、高小卒0.2、女卒0.4、専卒0.6、大卒1.0と次第に高くなつていく。

一般向婦人雑誌の読者を年齢別にみると、20才代が一番高く1人平均1.5冊、次は30才代1.4冊、これに次いで20才未満1.3、40才代1.2、50才代1.1、60才以上1.2と殆んど平均1冊以上読んでいることになる。

やや知識的婦人雑誌を学歴別にみると学歴の高くなるにしたがい次第に読書の率は高まつている。又本人の職業別にみると専給生活者が平均0.4冊読んでいて最も高く、これについて学生、商業、家庭婦人となつていて働く婦人が最も多いことが知られる。

又1人当りの総平均読書冊数は2.4冊である。

第9表 雑誌の分類 (用紙割当欄による)

1. 総合時局
改造、中央公論、世界文化、思索、前進、自由國民、リーダーズダイジェスト、カトリックダイジェスト、ニッポンダイジェスト、真相、アサヒグラフ、週間朝日、日本週報、世界の動き、
2. 青年
学生、新しい世界、青年文化、若人、アカツキ、
3. 婦人(一般)
主婦の友、婦人クラブ、婦人の友、家の光、家庭生活、スタイル、婦人画報、暮らしの手帖、婦人生活、婦人と生活、婦人と子供、女性、美貌、婦人世界、その他、
(やや知識的)
婦人公論、女性改造、婦人文庫、婦人の世紀、新婦人、婦人、婦人朝日、芸苑、女性観、女性の科

(ロ) 夫婦に男の子が2人、女の子が1人居る家庭で夫が亡くなった時誰が財産を相続しますか。

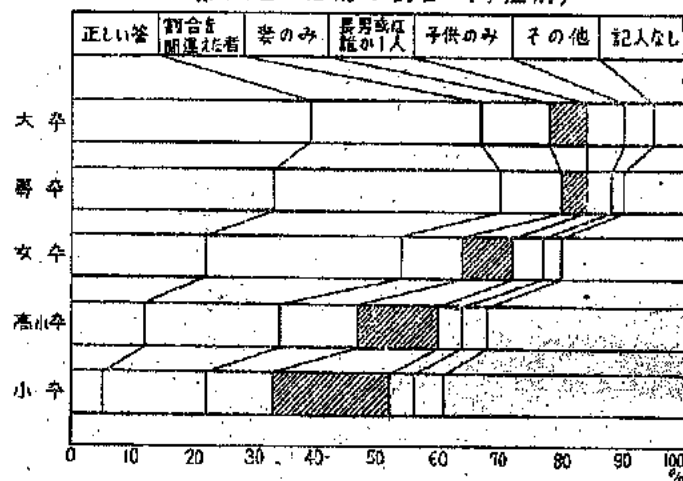
妻3分の1,残りを8人の子供で平等に分ける	18%
割合を間違つて答えた者	26
妻のみ相続する	11
長男或は誰か1人	10
子供のみ相続する	4
その他	4
記入なし	27
	100%

この問題は財産のない者には関係のない事だと言つてしまえばそれまでのことであるが、家の制度の廢止に伴う家督相続の廢止によつて財産相続のみとなつたことや、配偶者の相続権を認める等大幅な改正の行われた点であり、従来男子に比べて非常に不利な立場にをかれていた婦人にとつては特に関心のある問題の筈であるが、「妻三分の一、残りを三人の子供で均分相続」と相続の割合についてまで正しく答えた者は18%、妻と三人の子供が相続すると答えたが相続の割合をまちがえている者が26%、妻のみ相続すると答えた者11%、長男或は誰か一人が相続すると答えた者10%、子供のみ相続すると答えた者4%、その他4%、答えなかつた者27%で、44%が新しい相続についての規定を一應知つてゐるが、56%は知らないか或は誤解をしてをり、(イ)の場合にくらべて知らない者がもつと多い。

この問題について理解している者の率は學歷別に最も相違が著しく第14図のとおりであるが、年齢別では20才未満と50才以上とにあまりよく理解されてをらず、未婚既婚別では殆ど差がみられない。本人の職業別では一應理解しているものが家庭婦人では61%、俸給生活者41%、商業88%、学生70%、その他42%記入なし27%となつていて、家

庭婦人と自分で勤めている者とをくらべると非常に違つてゐるが、これは年齢構成にも多少関係しているであろうが、主として自分で働いている者は家庭婦人にくらべて他の人の財産を相続すると

第14図 相続の割合 (學歷別)



いうことに比較的関心が薄いと言えるのではなからうか。次に家を相続するという考えが残つていられると思われる長男或は誰か一人が相続すると答えたものについてみると、60才代、40才代の14%がもつとも多く、20才代の8%がもつとも少くなつてゐる。夫又は家の職業別では農林業の17%を最高に俸給生活者の8%が最低となつてゐる。なお相続権が妻のみにあると答えたものが11%あるが、これは新民法の誤解によるものであらうが注意を要する点である。

以上(イ)及び(ロ)の質問を通じて知ることができるように、婦人週間中の会合に集つた人々でさえ約半数が新民法それも特に私達と非常に関係の深い事項についてさへ知らないか或は誤つた知識をもつてゐるのであるから、会合にも出かけることをしない一般家庭婦人のことは推して知ることができよう。婦人自身が自分のをかれた立場を正しく知ることには先づ第一段階である筈である。婦人に関係のある法律の正しい理解徹底のためにまだまだ多くの努力が必要である。

(14) 婦人少年局ではいろいろなパンフレットやリーフレットを出しています
がみなさんはどんな内容のものが欲しいですか。

家庭生活を合理化するための料理や家事の知識	60%
修養に関するもの	47
婦人に関係ある法律の解説	42
外國の婦人の地位について	31
産 兒 制 限	15
妊娠と育児に関するもの	15
そ の 他	8
記 入 な し	16

ほしいものはいくつも希望させたため計は100を越すが希望の第1位は「家庭生活を合理化するための料理や家事の知識」で100人につき80人の割合で希望している。特に注意したいのは「婦人に関係のある法律の解説」を希望する者が100人中42人もあることで、社会の変化、婦人の進歩を物語るものであらう。

最も率の高かつた「家庭生活を合理化するための料理や家事の知識」を希望する者をさらに細かく分析すると、學歷別では小卒、高小卒、女卒、専卒と(大卒は数が少いために除く)學歷の高くなるに従つて希望の率も高くなつており、未婚既婚別では、現実の日常生活からの要求が大いいためか有夫の者が最も高い。

「婦人に関係のある法律の解説」については、學歷別ではやはり學歷の高くなるに従つて高くなつてゐる。これをさらに未婚既婚別にみると、有夫、未婚、死別又は離別の者の順になつてい

「婦人に関する法律の解説」は死別又は離別などにより世帯主になつて社会的にも責任を持たなければならぬ者からの要望が最も強かつた。

8. あ と が き

以上が簡略ながら婦人週間の会合に出席した婦人たちの回答をまとめたものである。これにより婦人一般を推しはかることはできないが、年齢層、学歴の程度、或は職業の種類などによりどのような相違があるかは大体の傾向を知ることができるであろう。このささやかな調査結果が婦人団体や婦人の問題に関心を持つ人々によつて利用され、これらの問題を自分自身の問題として婦人の地位の現状を検討し、向上させるための資料ともなれば幸いである。

なお、この報告書は1949年6月に発表した中間報告に年齢別、学歴別、未婚婚別、職業別などの分析を加えて印刷したものである。内容については巻末につけた附表をも参照の上御覧いただきたい。

附録 I 調査票

婦人の地位についての調査

労働省婦人少年局 1949年4月

お 願 い (1) 必要なところに○をつけて下さい
(2) 必要なところに記入して下さい

- あなたは終戦前と今日と比べて毎日の生活において婦人の地位が向上したと思いますか。
イ、相当向上したと思う。 ロ、少しは向上したと思う。
ハ、向上したと思わない。 ニ、わからない。
- あなたは婦人の地位の向上を妨げているものは何だと思いますか。
(簡単に箇条書きして下さい)
- あなたは婦人の地位をもつと高めるにはどうしたらいいと思いますか。
(簡単に箇条書きして下さい)
- あなたは男の人もしよの会合で自由な気持ちでどんどん意見を發表することが出来ますか。
イ、できる。 ロ、時によつてできる。 ハ、出来ない。
ニ、そのような会合に出たことがない。
- あなたは女の人が男の人たちと議論するのは良いことだと思いますか。
イ、いいと思う。 ロ、あまり感心しない。 ハ、わからない。
- あなたは内職をしたり、お店や夫の仕事を手傳つたり、或いは外に出て働いたりしてどの位家計を助けていますか。(お店や農業を手傳っている人はそのために働らく時間で考えて下さい)
イ、半分以上。 ロ、半分くらい。 ハ、半分以下。 ニ、全然助けない。
- 日常の家計費は誰があずかっていますか。
イ、全部自分があずかっている。 ロ、毎月きまつた額だけあずかる。
ハ、必要のたびにもらう。 ニ、共有して誰ともきまつてあずかっているものがない。
ホ、他の人があずかつていて関係がない。
- あなたは家族の大事な問題(たとえば子供の学校の問題とか、結婚の問題など)の決定に自由に意見を述べますか。
イ、のべる ロ、えんりよする。 ハ、できない。
- あなたは婦人会、青年会、組合あるいは研究会、修養会のような会合に出席しますか。
イ、よく出席する。 ロ、時々出席する。 ハ、出席しない
なぜ出席しませんか。(理由を簡単に書いて下さい)

10. あなたは新聞をよみますか。

イ、毎日よむ。 ロ、時々よむ。 ハ、よまない

なぜよまないのですか。(理由を簡単に書いて下さい)

11. あなたが先月読んだ雑誌の名前を全部書いて下さい。

12. あなたは一月二十三日の衆議院議員の選挙のとき投票しましたか。

イ、投票した。 ロ、投票しなかった。 ハ、投票権がない。

13. 次の場合に新しい民法の条文ではどうなっていますか。

(1) 女の人が結婚したとき姓はどうなりますか。

(2) 夫婦に男の子が二人、女の子が一人居る家庭で夫が亡くなった時誰が財産を相続しますか。

14. 婦人少年局では色々なパンフレットやリーレットを出していますがみなさんはどんな内容のものが欲しいですか。

イ、家庭生活を合理化するための料理や家事の知識。 ロ、産児制限。
ハ、修養に関するもの。 ニ、妊娠と育児に関するもの。 ホ、婦人に関係のある法律の解説。
ヘ、外国の婦人の地位について。 ト、その他。(なんでも書いて下さい)

名前はいりません	年齢数え年	才	未婚	有夫	死別又は離婚			
学歴	小卒	高卒	女在	女卒	専在	専卒	大在	大卒
職業	(自分の職業)		家庭婦人	俸給生活者	商業	学生	その他()	
	(夫又は家の職業)		俸給生活者	工業	商業	農業	漁業	その他()
家族数	名	あなたと世帯主との続柄 ()						
家族はだれだれですか(世帯主との続柄で書いて下さい)								

附録II 質問別統計表

1. あなたは終戦前と今日と比べて毎日の生活において婦人の地位が向上したと思いますか。

項 目 別	総 数		相当向上 したと思 う	少しは向 上したと 思う	向上した と思わな い	わからな い	記入なし
	実 数	%					
總 数	5,711	100%	14%	70%	12%	2%	2%
年 令							
20才未満	273	100	8	76	11	3	2
20—29	1,800	100	12	76	10	1	1
30—39	1,154	100	14	69	13	2	2
40—49	1,405	100	16	67	11	3	3
50—59	492	100	19	66	12	1	2
60才以上	77	100	15	64	16	4	1
不 明	510	100	15	66	13	2	4
学 歴							
小 卒	445	100	16	62	13	4	5
高 卒	1,565	100	16	70	10	3	1
女 専	2,450	100	12	74	12	1	1
大 卒	586	100	16	71	10	0*	3
不 明	18	100	17	72	11	0	0
未 既 婚 別							
未 婚	1,800	100	12	76	10	1	1
死 別	2,693	100	15	68	12	3	2
又 是 離 別	628	100	16	69	12	1	2
不 明	590	100	18	64	12	2	4
本 人 の 職 業 別							
家 庭 婦 人	2,060	100	15	69	12	2	2
俸 給 生 活 者	1,879	100	14	75	9	1	1
商 業	150	100	16	17	15	1	1
学 生	174	100	5	75	17	2	1
そ の 他	250	100	15	69	12	4	0*
不 明	1,198	100	15	66	13	3	3
夫 又 は 家 の 職 業 別							
俸 給 生 活 者	1,720	100	13	72	13	1	1
工 商 農 漁	170	100	17	71	9	3	0*
そ の 他	425	100	14	69	12	3	2
不 明	862	100	14	70	12	2	2
	17	100	6	82	6	6	0
	207	100	17	67	13	1	2
	2,310	100	10	70	11	2	7

* 印は1%未満

2. あなたは婦人の地位の向上を妨げているものは何だと思いますか。

項目別	回答者総数		従来及び慣習の残存性	男性及び無理解	家事の不合理	婦人の無自覚性	経済的不安定	低かつた教育程度	政治及び社会意識の欠如	社会教育施設の不足	婦人の経済的自立の欠如	子供の多いこと	その他
	実数	%											
総数	4,295	100%	42	35	30	27	14	9	2	1	0*	0*	0*
年齢別	20才未満	165	100	45	49	21	33	10	12	4	0	1	0
	20~29	1,415	100	49	35	25	32	12	11	3	2	0*	0*
	30~39	892	100	40	30	38	24	17	8	2	1	0*	0*
	40~49	1,077	100	38	32	35	25	16	8	1	0*	0*	0*
	50~59	388	100	36	43	34	21	13	10	2	0	0	0*
	60才以上	56	100	37	37	30	24	7	14	1	0	1	0
学歴別	小卒	251	100	33	30	30	16	14	6	4	0	0*	0
	高小卒	1,047	100	40	32	27	22	15	7	2	0	0*	0*
	女卒	2,060	100	46	36	33	29	13	10	2	1	0*	0*
	専卒	551	100	45	44	34	39	15	17	2	1	0	0*
	大卒	18	100	17	56	33	56	6	39	0	6	0	0
	未既婚別												
本人の職業別	未婚	1,402	100	48	38	24	35	13	11	2	1	0*	0*
	有夫	2,056	100	38	32	37	23	15	8	2	1	0*	0*
	死別又は離別	495	100	44	38	27	25	16	10	1	1	0*	0*
	家庭婦人	1,644	100	38	32	38	26	16	8	1	0*	0*	0*
	俸給生活者	1,494	100	50	39	23	33	12	12	2	1	0*	0*
	商業	105	100	34	40	42	16	11	8	1	0	0	0
夫又は家の職業別	学生	156	100	41	36	36	38	12	12	3	1	0	0
	その他	169	100	34	42	37	20	10	11	2	0	0	0*
	俸給生活者	1,430	100	40	34	35	27	17	10	2	1	0*	0*
	工業	123	100	65	21	34	30	19	8	0	1	0	0
	商業	329	100	41	36	38	26	13	10	1	0*	0*	0
	農業	598	100	41	35	33	21	7	9	1	0*	0	0
その他	漁業	13	100	46	30	23	53	15	23	23	0	0	0
	その他	164	100	60	53	43	49	14	14	7	0	0	0*

* 印は1%未満

3. あなたは婦人の地位をもつと高めるにはどうしたらいいと思いますか。

項目別	回答者総数		婦人の自覚と意識を高めること	家庭内生活の合理化	男性及び世間の理解	教育の向上	社会教育施設の完備	婦人の経済的自立	婦人の組織	経済の安定	従来及び慣習の打破	政治及び社会意識の向上	産児制限	その他
	実数	%												
総数	4,262	100%	74	27	19	10	4	3	3	2	2	1	*0	1
年齢別	20才未満	172	100	90	17	20	10	5	1	3	2	2	1	*0
	20~29	1,424	100	82	25	19	10	5	2	3	2	2	1	*0
	30~39	857	100	74	33	19	9	3	3	2	1	2	1	*0
	40~49	1,067	100	66	31	19	10	3	3	1	2	2	*0	1
	50~59	387	100	67	28	16	11	1	2	2	2	1	1	*0
	60才以上	49	100	85	26	28	14	4	0	0	2	0	0	2
学歴別	小卒	257	100	71	28	17	10	5	3	1	2	1	*0	1
	高小卒	1,073	100	74	22	13	6	2	2	2	1	2	1	*0
	女卒	2,025	100	72	32	21	9	4	3	2	2	2	1	*0
	専卒	547	100	73	32	23	15	5	3	4	3	2	1	*0
	大卒	18	100	88	22	22	16	0	11	0	5	0	22	0
	未既婚別													
本人の職業別	未婚	1,399	100	80	24	20	11	2	2	3	2	2	1	*0
	有夫	2,039	100	70	32	20	9	3	3	2	1	2	1	*0
	死別又は離別	498	100	76	27	15	9	2	3	2	2	2	1	*0
	家庭婦人	1,605	100	67	33	19	9	2	3	2	1	1	1	*0
	俸給生活者	1,545	100	77	22	20	10	4	2	3	2	3	1	*0
	商業	103	100	78	31	22	8	9	1	4	3	3	1	0
夫又は家の職業別	学生	154	100	80	36	19	13	1	2	2	8	1	1	0
	その他	177	100	70	28	21	6	6	2	1	1	1	*0	0
	俸給生活者	1,397	100	74	33	21	10	4	4	2	2	1	1	*0
	工業	121	100	75	22	16	13	0	4	1	6	3	1	0
	商業	323	100	75	34	18	8	4	4	1	3	1	1	*0
	農業	597	100	72	25	19	9	3	1	2	*0	1	*0	0
その他	漁業	13	100	99	38	15	7	1	15	0	7	0	0	0
	その他	182	100	97	30	18	10	6	2	2	4	5	1	0

* 印は1%未満

4. あなたは男の人もしよの会合で自由な気持ちでどんどん意見を発表することができますか。

項 目 別	総 数		できる	時によつてできる	出来ない	そのような会合に出席したことがない	記入なし
	実 数	%					
総 数	5,711	100%	22%	54%	7%	15%	2%
年 令 別							
20才未満	273	100	17	52	12	18	1
20~29	1,800	100	18	60	8	13	1
30~39	1,154	100	20	51	7	20	2
40~49	1,405	100	24	54	6	14	2
50~59	492	100	35	49	2	8	6
60才以上	77	100	38	36	13	9	4
不 明	510	100	22	54	6	13	5
学 歴 別							
小 高 小 卒	445	100	14	50	12	21	3
高 小 卒	1,565	100	17	55	7	18	3
女 専 卒	2,450	100	23	56	7	13	1
大 専 卒	586	100	38	50	3	8	1
不 明 卒	18	100	67	17	11	0	5
未 既 婚 別	647	100	18	53	10	15	4
未 有 死 別	1,800	100	21	60	8	11	0*
既 婚 別	2,693	100	22	51	6	18	3
未 有 死 別	628	100	28	54	7	9	2
既 婚 別	590	100	19	54	10	12	5
本 人 の 職 業 別							
家 庭 婦 人 者	2,060	100	25	50	6	17	2
給 生 活	1,879	100	22	60	8	9	1
商 学 生 他 明	150	100	21	52	7	17	3
そ の 不	174	100	21	52	6	21	0*
夫 又 は 家 の 職 業 別	250	100	18	56	11	13	2
不 明	1,198	100	18	52	8	18	4
夫 又 は 家 の 職 業 別							
工 商 農 漁 所 の	1,720	100	24	52	6	17	1
不 明	170	100	19	55	8	16	2
工 商 農 漁 所 の	425	100	18	53	9	20	0
不 明	862	100	16	56	9	14	5
工 商 農 漁 所 の	17	100	18	59	0	23	0
不 明	207	100	27	58	5	12	1
工 商 農 漁 所 の	2,310	100	23	55	8	12	2

* 印は1%未満

5. あなたは女の人が男の人たちと議論するのは良いことだと思いますか。

項 目 別	総 数		いいと思 う	あまり感 心しない	わからな い	記入なし
	実 数	%				
総 数	5,711	100%	78%	16%	2%	4%
年 令 別						
20才未満	273	100	87	7	4	2
20~29	1,800	100	87	9	2	2
30~39	1,154	100	76	17	2	5
40~49	1,405	100	70	22	2	6
50~59	492	100	72	23	2	3
60才以上	77	100	64	22	8	6
不 明	510	100	71	20	2	7
学 歴 別						
小 高 小 卒	445	100	68	22	4	6
高 小 卒	1,565	100	72	20	3	5
女 専 卒	2,450	100	82	13	2	3
大 専 卒	586	100	89	8	1	2
不 明 卒	18	100	94	6	0	0
未 既 婚 別	647	100	69	21	3	7
未 有 死 別	1,800	100	80	8	2	2
既 婚 別	2,693	100	72	21	2	5
未 有 死 別	628	100	80	14	2	4
既 婚 別	590	100	68	21	3	8
本 人 の 職 業 別						
家 庭 婦 人 者	2,060	100	74	19	2	5
給 生 活	1,879	100	87	9	2	2
商 学 生 他 明	150	100	71	21	0*	8
そ の 不	174	100	95	3	1	1
夫 又 は 家 の 職 業 別	250	100	65	25	4	6
不 明	1,198	100	69	21	3	7
夫 又 は 家 の 職 業 別						
工 商 農 漁 所 の	1,720*	100	80	15	2	3
不 明	170	100	75	19	0	6
工 商 農 漁 所 の	425	100	72	21	3	4
不 明	862	100	69	21	4	6
工 商 農 漁 所 の	17	100	76	24	0	0
不 明	207	100	80	16	2	2
工 商 農 漁 所 の	2,310	100	80	14	2	4

* 印は1%未満

6. あなたは内職をしたり、お店や夫の仕事を手傳つたり或いは外に出て働いたりしてどの位家計を助けますか。

項 目 別	総 数		半分以上	半分くら い	半分以下	全然助け な い	記入なし
	実 数	%					
総 数	5,711	100%	20%	20%	28%	22%	10%
年 令 別							
20才未満	273	100	5	11	40	30	14
20~29	1,800	100	15	20	34	21	10
30~39	1,154	100	26	18	24	25	7
40~49	1,405	100	25	22	23	22	8
50~59	492	100	21	23	25	20	11
60才以上	77	100	27	21	24	17	11
不 明	510	100	21	26	24	17	12
学 歴 別							
小 学 卒	445	100	23	21	25	16	15
高 小 卒	1,565	100	22	22	27	19	10
女 専 卒	2,450	100	18	20	30	25	7
大 卒	586	100	21	16	30	24	9
不 明	18	100	22	22	22	17	17
未 既 婚 別	647	100	24	24	23	16	13
未 既 婚 別							
未 既 婚 別	1,800	100	15	16	36	22	11
死 別 又 は 離 別	2,693	100	17	22	28	26	7
不 明	628	100	48	16	15	9	12
不 明	590	100	24	27	20	14	15
本 人 の 職 業 別							
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	2,060	100	14	19	29	30	8
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	1,879	100	22	19	34	14	11
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	150	100	48	29	14	4	5
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	174	100	2	7	22	59	10
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	250	100	49	23	18	5	5
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	1,198	100	23	24	21	20	12
夫 又 は 家 の 職 業 別							
夫 又 は 家 の 職 業 別	1,720	100	11	16	33	33	7
夫 又 は 家 の 職 業 別	170	100	15	18	30	29	8
夫 又 は 家 の 職 業 別	425	100	16	27	32	19	6
夫 又 は 家 の 職 業 別	862	100	38	28	22	6	6
夫 又 は 家 の 職 業 別	17	100	6	12	47	29	6
夫 又 は 家 の 職 業 別	207	100	20	20	30	23	7
夫 又 は 家 の 職 業 別	2,310	100	22	20	25	19	14

7. 日常の家計費は誰があずかっていますか。

項 目 別	総 数		全部自分 があずか っている	毎月定つ た額だけ あずかる	必要の度 に 貰 う	共有して も 誰とあ づかつて いる者が ない	他の人が あずかつ ていて関 係がない	記入なし
	実 数	%						
総 数	5,711	100%	43%	9%	16%	8%	15%	9%
年 令 別								
20才未満	273	100	4	6	27	6	38	19
20~29	1,800	100	15	9	21	6	32	17
30~39	1,154	100	60	10	12	9	6	3
40~49	1,405	100	66	10	12	8	2	2
50~59	492	100	63	12	10	11	2	2
60才以上	77	100	43	17	18	9	10	3
不 明	510	100	45	8	18	8	7	14
学 歴 別								
小 学 卒	445	100	48	5	18	9	6	14
高 小 卒	1,565	100	42	10	16	8	14	10
女 専 卒	2,450	100	43	10	16	7	17	7
大 卒	586	100	44	10	15	8	17	6
不 明	18	100	28	0	6	22	33	11
未 既 婚 別	647	100	43	8	17	10	8	14
未 既 婚 別								
未 既 婚 別	1,800	100	10	7	21	6	37	19
死 別 又 は 離 別	2,693	100	50	12	14	9	3	12
不 明	628	100	68	8	6	8	7	3
不 明	590	100	40	8	19	9	8	16
本 人 の 職 業 別								
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	2,060	100	61	12	13	8	4	2
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	1,879	100	24	8	18	7	29	16
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	150	100	58	6	11	17	4	4
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	174	100	6	7	40	3	37	7
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	250	100	47	6	21	10	10	6
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	1,198	100	45	8	18	9	9	11
夫 又 は 家 の 職 業 別								
夫 又 は 家 の 職 業 別	1,720	100	52	13	10	6	14	5
夫 又 は 家 の 職 業 別	170	100	39	12	18	9	17	5
夫 又 は 家 の 職 業 別	425	100	38	7	20	13	17	5
夫 又 は 家 の 職 業 別	862	100	38	6	27	12	10	7
夫 又 は 家 の 職 業 別	17	100	41	0	29	0	18	12
夫 又 は 家 の 職 業 別	207	100	49	6	19	11	15	0*
夫 又 は 家 の 職 業 別	2,310	100	39	9	15	7	16	14

* 印は1%未満

8. あなたは家族の大事な問題（たとえば子供の学校の問題とか結婚の問題など）の決定に自由に意見をのべますか。

項 目 別	総 数		の べ る	えんりよ する	できない	記入なし
	実 数	%				
総 数	5,711	100%	85%	7%	2%	6%
年 令 別						
20才未満	273	100	66	12	8	14
20～29	1,800	100	79	10	3	8
30～39	1,154	100	88	7	1	4
40～49	1,405	100	92	4	1	3
50～59	492	100	95	2	1	2
60才以上	77	100	92	7	0	1
不 明	510	100	82	8	2	8
学 歴 別						
小 高 女 卒	445	100	72	14	3	11
小 高 女 卒	1,565	100	82	8	3	7
大 卒	2,450	100	90	6	1	3
大 卒	586	100	92	2	1	5
大 卒	18	100	89	11	0	0
不 明	647	100	76	10	3	11
未 既 婚 別						
未 有 婚 夫	1,800	100	79	8	3	10
死 別 又 は 離 別	2,693	100	90	6	1	3
死 別 又 は 離 別	628	100	91	5	1	3
死 別 又 は 離 別	590	100	74	12	3	11
本人の職業別						
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	2,060	100	92	4	1	3
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	1,879	100	82	8	2	8
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	150	100	90	5	3	2
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	174	100	82	7	3	8
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	250	100	81	7	3	8
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	1,198	100	80	10	2	8
夫又は家の職業別						
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	1,720	100	91	5	1	3
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	170	100	82	10	5	3
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	425	100	90	5	2	3
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	862	100	80	12	2	6
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	17	100	70	18	6	6
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	207	100	91	4	1	4
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	2,310	100	82	7	2	9

9. あなたは婦人会、青年会、組合あるいは研究会、修養会のよな会合に出席しますか。

項 目 別	総 数		よく出席 する	時々出席 する	出席しない	記入なし
	実 数	%				
総 数	5,711	100%	38%	47%	13%	2%
年 令 別						
20才未満	273	100	22	55	21	2
20～29	1,800	100	28	57	14	1
30～39	1,154	100	34	47	17	2
40～49	1,405	100	48	41	10	1
50～59	492	100	60	31	4	5
60才以上	77	100	67	26	4	3
不 明	510	100	41	43	11	5
学 歴 別						
小 高 女 卒	445	100	33	48	17	2
小 高 女 卒	1,565	100	37	48	13	2
大 卒	2,450	100	39	46	13	2
大 卒	586	100	45	45	9	1
大 卒	18	100	44	28	28	0
不 明	647	100	36	48	10	6
未 既 婚 別						
未 有 婚 夫	1,800	100	29	56	14	1
死 別 又 は 離 別	2,693	100	43	42	13	2
死 別 又 は 離 別	628	100	45	43	10	2
死 別 又 は 離 別	590	100	39	47	10	4
本人の職業別						
家 庭 婦 人 者 業 業 生 他 明	2,060	100	45	40	13	2
家 庭 婦 人 者 業 業 生 他 明	1,879	100	32	55	12	1
家 庭 婦 人 者 業 業 生 他 明	150	100	49	42	6	3
家 庭 婦 人 者 業 業 生 他 明	174	100	22	55	21	2
家 庭 婦 人 者 業 業 生 他 明	250	100	50	44	4	2
家 庭 婦 人 者 業 業 生 他 明	1,198	100	35	47	15	3
夫又は家の職業別						
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	1,720	100	36	48	14	2
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	170	100	39	40	19	2
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	425	100	29	52	16	3
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	862	100	49	45	5	1
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	17	100	12	76	12	0
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	207	100	46	39	13	2
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	2,310	100	37	48	13	2

10. あなたは新聞を読みますか。

項 目 別	総 数		毎日よむ	時々よむ	よまない	記入なし
	実 数	%				
総 数	5,711	100%	80%	19%	1%	0%
年 令 別						
20才未満	273	100	75	25	0*	0*
20~29	1,800	100	79	21	0*	0*
30~39	1,154	100	84	15	1	0*
40~49	1,405	100	80	17	2	1
50~59	492	100	82	16	1	1
60才以上	77	100	84	8	8	0
不 明	510	100	72	24	1	3
学 歴 別						
小 学 卒	445	100	59	36	4	1
高 小 卒	1,565	100	76	23	1	0*
女 専 卒	2,450	100	87	13	0*	0*
大 専 卒	586	100	92	8	0*	0*
不 明 卒	18	100	89	11	0	0
未 既 婚 別	647	100	69	26	3	2
未 有 死 別 又 は 離 別 明	1,800	100	80	20	0*	0*
未 有 死 別 又 は 離 別 明	2,693	100	81	17	1	1
未 有 死 別 又 は 離 別 明	628	100	82	17	1	0
未 有 死 別 又 は 離 別 明	590	100	69	26	2	3
本 人 の 職 業 別						
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	2,060	100	85	13	1	1
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	1,879	100	79	21	0*	0*
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	150	100	84	14	1	1
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	174	100	87	13	0	0
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	250	100	68	29	2	1
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	1,198	100	74	23	2	1
夫 又 は 家 の 職 業 別						
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	1,720	100	86	13	1	0*
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	170	100	78	21	0*	1
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	425	100	83	16	0*	1
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	862	100	65	33	2	0*
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	17	100	77	23	0	0
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	207	100	80	18	1	1
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	2,310	100	81	17	1	1

* 印は1%未満

11. あなたが先日読んだ雑誌の名前を全部書いて下さい。

(一人平均冊数)

項 目 別	総 平 均	総合時局	婦 人 (一般)	婦 人 (専 門 的)	大 衆	専 門	そ の 他
総 数	2.4	0.3	1.3	0.2	0.1	0.1	0.4
年 令 別							
20才未満	2.7	0.4	1.3	0.2	0.2	0.1	0.5
20~29	2.7	0.4	1.5	0.3	0.2	0.1	0.2
30~39	2.4	0.3	1.4	0.2	0.2	0.1	0.2
40~49	1.9	0.3	1.2	0.2	0.1	0.1	0*
50~59	1.9	0.3	1.1	0.2	0.1	0.1	0.1
60才以上	2.2	0.4	1.2	0.2	0.1	0.2	0.1
不 明	1.9	0.2	1.3	0.2	0.1	0*	0.1
学 歴 別							
小 学 卒	2.0	0.1	1.4	0.1	0.2	0.1	0.1
高 小 卒	2.0	0.2	1.3	0.2	0.2	0*	0.1
女 専 卒	2.4	0.4	1.3	0.3	0.1	0.1	0.2
大 専 卒	2.9	0.6	1.3	0.2	0.1	0.2	0.5
不 明 卒	3.7	1.0	1.1	0.4	0.1	0.6	0.5
未 既 婚 別	2.1	0.2	1.4	0.2	0.1	0.1	0.1
未 有 死 別 又 は 離 別 明	2.9	0.4	1.5	0.4	0.2	0.1	0.3
未 有 死 別 又 は 離 別 明	2.0	0.3	1.2	0.2	0.1	0.1	0.1
未 有 死 別 又 は 離 別 明	2.1	0.3	1.2	0.2	0.1	0.1	0.2
未 有 死 別 又 は 離 別 明	2.1	0.2	1.5	0.2	0.1	0*	0.1
本 人 の 職 業 別							
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	2.1	0.3	1.2	0.2	0.1	0.1	0.2
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	2.9	0.4	1.5	0.4	0.4	0.2	0*
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	2.3	0.3	1.4	0.2	0.2	0*	0.1
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	3.1	0.6	1.6	0.2	0.1	0.1	0.5
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	2.1	0.3	1.3	0.1	0.1	0.1	0.2
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	1.7	0.2	1.2	0.1	0.1	0*	0.1
夫 又 は 家 の 職 業 別							
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	2.4	0.4	1.3	0.3	0.2	0*	0.2
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	2.3	0.3	1.3	0.2	0.2	0.1	0.2
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	2.3	0.3	1.4	0.3	0.2	0.1	0*
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	2.0	0.2	1.3	0.2	0.1	0.1	0.1
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	2.4	0.3	1.3	0.2	0.1	0.1	0.4
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	2.7	0.5	1.5	0.3	0.2	0.1	0.1
俸 給 生 活 者 業 業 業 他 明	2.1	0.3	1.2	0.2	0.1	0.1	0.2

* 印は1%未満

12. あなたは一月二十三日の衆議院議員の選挙のとき投票しましたか。

項 目 別	総 数		投票した	投票しなかつた	投票権がない	記入なし
	実 数	%				
総 数	5,711	100%	81%	3%	14%	2%
年 令 別						
20才未満	273	100	0*	0*	96	4
20~29	1,800	100	68	4	26	2
30~39	1,154	100	93	4	2	1
40~49	1,405	100	95	3	1	1
50~59	492	100	96	1	0*	3
60才以上	77	100	95	4	1	0
不 明	510	100	86	3	4	7
学 歴 別						
小 学 卒	445	100	89	3	7	1
小 高 卒	1,565	100	83	3	13	1
女 専 卒	2,450	100	79	3	16	2
大 卒	586	100	78	5	17	0*
不 明	18	100	67	5	28	0
未 既 婚 別	647	100	83	4	8	5
未 既 婚 別						
未 既 婚 別	1,800	100	57	4	37	2
死 別 又 は 離 別	2,693	100	94	3	2	1
不 明	628	100	91	4	4	1
不 明	590	100	82	3	10	5
本 人 の 職 業 別						
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	2,060	100	94	3	2	1
給 生 活	1,879	100	68	4	26	2
商 学 生 他 明	150	100	92	3	2	3
の	174	100	13	1	84	2
不 明	250	100	92	1	6	1
不 明	1,198	100	85	4	7	4
夫 又 は 家 の 職 業 別						
夫 又 は 家 の 職 業 別	1,720	100	82	4	13	1
給 生 活	170	100	82	4	12	2
者 業 業 業 業 他 明	425	100	81	3	14	2
の	862	100	87	2	10	1
不 明	17	100	76	0	18	6
不 明	207	100	81	4	14	1
不 明	2,310	100	78	3	16	3

* 印は1%未満

13. (4) 女の人が結婚した時、姓はどうなりますか。

項 目 別	総 数		協議によりきめる	自由或いはどちらでもよい	相手の姓になる	そ の 他	記入なし
	実 数	%					
総 数	5,711	100%	16%	39%	14%	2%	29%
年 令 別							
20才未満	273	100	17	34	7	4	38
20~29	1,800	100	22	41	10	2	25
30~39	1,154	100	17	43	16	2	22
40~49	1,405	100	13	39	18	2	28
50~59	492	100	16	38	18	2	26
60才以上	77	100	16	39	13	1	31
不 明	510	100	4	26	17	2	51
学 歴 別							
小 学 卒	445	100	9	28	14	3	46
小 高 卒	1,565	100	12	35	16	2	35
女 専 卒	2,450	100	18	40	14	2	26
大 卒	586	100	32	43	12	3	10
不 明	18	100	33	34	22	0	11
未 既 婚 別	647	100	6	29	16	2	47
未 既 婚 別							
未 既 婚 別	1,800	100	22	41	8	3	26
死 別 又 は 離 別	2,693	100	14	40	18	2	26
不 明	628	100	15	39	18	2	26
不 明	590	100	8	22	15	1	54
本 人 の 職 業 別							
家 庭 婦 人 者 業 生 他 明	2,060	100	16	40	17	2	25
給 生 活	1,879	100	20	43	9	2	26
商 学 生 他 明	150	100	15	32	17	1	35
の	174	100	34	41	10	4	11
不 明	250	100	14	37	15	1	33
不 明	1,198	100	7	31	17	2	43
夫 又 は 家 の 職 業 別							
夫 又 は 家 の 職 業 別	1,720	100	20	42	14	2	22
給 生 活	170	100	17	32	19	2	30
者 業 業 業 業 他 明	425	100	16	37	17	2	28
の	862	100	14	37	14	2	33
不 明	17	100	6	41	24	0	29
不 明	207	100	14	47	17	4	18
不 明	2,310	100	14	37	13	2	31

13. (ロ) 夫婦に男の子が二人、女の子が一人居る家庭で夫が亡くなった時、誰が財産を相続しますか。

項 目 別	総 数		妻3分の1残りを3人の子供で平等に分ける	妻のみを相続する者	妻のみを相続する者	長男或は一人相	子供のみを相続する者	その他	記入なし
	実 数	%							
総 数	5,711	100%	18%	26%	11%	10%	4%	4%	27%
年 令 別									
20才未満	273	100	14	22	8	10	3	4	39
20~29	1,800	100	15	39	13	8	4	4	17
30~39	1,154	100	18	28	12	10	4	4	24
40~49	1,405	100	21	25	10	14	4	3	23
50~59	492	100	9	29	6	9	5	4	38
60才以上	77	100	22	25	4	14	8	5	23
不 明	510	100	9	10	9	12	5	3	52
学 歴 別									
小 学 卒	445	100	5	17	11	19	4	5	39
高 小 卒	1,565	100	12	22	13	13	4	4	32
女 専 卒	2,450	100	22	32	10	8	5	3	20
大 卒	586	100	33	37	10	4	4	2	10
不 明	18	100	39	28	11	6	6	5	5
未 既 婚 別	647	100	9	16	8	13	5	4	45
未 有 死 別	1,800	100	15	29	13	8	4	3	28
死 別 又 は 離 別	2,693	100	20	28	10	11	5	4	22
不 明	628	100	20	27	10	11	6	4	22
未 既 婚 別	590	100	8	15	9	13	3	4	48
本 人 の 職 業 別									
家 庭 婦 人 者	2,060	100	21	30	9	10	5	4	21
専 業 生 活	1,879	100	17	24	12	7	4	4	32
学 校 生	150	100	13	25	15	14	5	3	25
そ の 他	174	100	31	39	6	6	3	3	12
不 明	250	100	18	24	9	18	3	2	29
夫 又 は 家 の 職 業 別	1,198	100	11	16	11	16	4	4	38
夫 又 は 家 の 職 業 別									
工 務 業	1,720	100	22	32	10	8	4	3	21
農 業	170	100	18	28	13	10	7	5	19
商 業	425	100	16	28	12	12	3	4	25
そ の 他	862	100	17	22	10	17	4	3	27
不 明	17	100	29	24	12	12	0	0	23
夫 又 は 家 の 職 業 別	207	100	21	30	8	10	8	6	17
不 明	2,310	100	14	24	11	10	5	4	32

14. 婦人少年局ではいろいろなパンフレットやリーフレットを出していますがみなさんはどんな内容のものが欲しいですか。

項 目 別	総 数		家庭生活を合意化するための料理や家事の知識	修養に関するもの	婦人に関係のある法律の解説	外国の婦人の地位について	産児制限	妊娠と育児に関するもの	その他	不明
	実 数	%								
総 数	5,711	100%	60%	47%	42%	31%	15%	15%	3%	16%
年 令 別										
20才未満	273	100	42	43	38	40	8	8	4	20
20~29	1,800	100	60	49	47	37	15	16	4	11
30~39	1,154	100	62	45	42	30	18	15	3	13
40~49	1,405	100	65	51	42	30	15	13	3	16
50~59	492	100	64	52	44	31	17	19	1	15
60才以上	77	100	64	51	44	23	13	20	3	21
不 明	510	100	45	33	25	18	13	11	2	38
学 歴 別										
小 学 卒	445	100	48	39	31	19	16	14	2	29
高 小 卒	1,565	100	59	45	38	28	14	13	2	17
女 専 卒	2,450	100	66	53	46	36	15	15	4	8
大 卒	586	100	69	51	55	44	20	16	6	6
不 明	18	100	61	56	67	61	22	22	5	0
未 既 婚 別	647	100	41	32	30	20	12	11	1	39
未 有 死 別	1,800	100	57	50	47	39	13	14	4	12
死 別 又 は 離 別	2,693	100	67	47	40	29	18	16	3	13
不 明	628	100	57	54	51	31	10	14	4	14
未 既 婚 別	590	100	38	34	26	19	12	12	2	40
本 人 の 職 業 別										
家 庭 婦 人 者	2,060	100	70	51	42	31	17	15	3	11
専 業 生 活	1,879	100	58	52	49	39	15	15	4	11
学 校 生	150	100	63	41	45	31	10	9	1	20
そ の 他	174	100	43	42	51	40	13	7	3	10
不 明	250	100	59	48	40	21	15	21	2	20
夫 又 は 家 の 職 業 別	1,198	100	48	36	30	21	13	13	2	30
夫 又 は 家 の 職 業 別										
工 務 業	1,720	100	69	51	46	35	19	18	4	9
農 業	170	100	65	41	42	29	16	17	1	22
商 業	425	100	64	49	45	35	17	16	2	11
そ の 他	862	100	59	46	36	23	12	5	2	20
不 明	17	100	53	35	18	24	18	6	6	0
夫 又 は 家 の 職 業 別	207	100	63	50	14	32	14	16	4	10
不 明	2,310	100	53	45	40	31	13	12	3	20

昭和25年3月10日 印刷

昭和25年3月15日 發行

編集兼
發行人 東京都千代田區代官町1番地
勞働省婦人少年局

印刷人 東京都中央區入船町2ノ3
永井直保

印刷所 東京都中央區入船町2ノ3
永井印刷工業株式會社